

つくし野中だより

第1号2023、4、11

校長挨拶

柳田 拓史

第48回入学式式辞より

桜の季節が移ろい、色とりどりの花が咲き競う季節を迎えました。本日ここに、ご多用の中、学校運営協議委員の皆様、PTA 本部役員の皆様、そして保護者の皆様のご臨席のもとに、令和5年度第48回つくし野中学校入学式が挙行出来ますことを、心から感謝申し上げます。

282名の新入生の皆さん。入学おめでとうございます。一人ひとり、担任の先生から呼名を受けた時の、凛とした返事や引き締まった表情を見て、今日から始まる中学校生活に向けての意気込みが伝わってきました。

皆さんの小学校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの制約や困難があったことと思います。しかし、今日の皆さんの姿から、きっとその環境の中で、出来ることに全力を尽くし、多くを学び、経験を深め、晴れて今日の入学式を迎えていることを感じる事が出来、本当に喜ばしく思っています。

その皆さんの入学に際して、私から3つのお願いがあります。

最初のお願いは、皆さんがこの世に授かった、たったひとつの大事な生命を大切にしてほしいということです。

先ほどお聞きした皆さんのお名前。それは、この世に生を受けた時に、皆さんの将来の幸せと健やかな成長を願ってつけられた、最初のプレゼントでした。

これから始まる3年間の中学校生活。今日の皆さんの様子から、きっと日々の活動の多くの場面で大活躍する姿が目に見えます。一方、新たな環境に疲れたり、少し立ち止まってゆっくりしたい時もあると思います。そんな時には、たったひとつの大事な生命を大切に、焦ることなく、自分のペースで3年間を歩んでほしいと思います。

2つめのお願いは、皆さんのもつ新たな発想や考え方を、思う存分発揮してほしいということです。

今日から始まる新たな出会いや学びから、きっと皆さんは、今まで自分でも気がつかなかった、自分の能力や適性を、発見していくことと思います。

その能力や適性を、今までの習慣や先入観にとられることなく、新しい環境で発揮してほしいと思います。皆さんの若々しい、新鮮な精神や感性は、きっと、つくし野中学校が培ってきた伝統に加えて、新たな息吹として、より良い学校づくりの礎となることでしょう。

最後のお願いは、異なる個性を大切にしてほしい、ということです。

私たちの住む地球には、様々な人々が暮らしています。国や地域によって、言語、文化、生

活様式等も異なれば、考え方や価値観も様々です。その様々な特徴・特性のある人々が互いに支えあいながら、社会生活を営んでいます。私は皆さんが、中学校生活で出会う、多くの仲間や貴重な経験から、異なる個性をもつ人々と力を合わせて、ひとつの社会を築いていく意義を感じてほしいと思います。そして将来、グローバルシチズン(地球市民)として、活躍してくれることを期待しています。

新入生の皆さん。つくし野中学校は「誰一人取り残さない」という考え方のもとに、皆さんの心と身体の健康を第一に、共に歩むことをお約束します。どうか安心して、中学校生活の第一歩を踏み出してください。

結びとなりますが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございませう。中学校の標準服に身を包み、緊張した表情で、入学する姿をご覧いただき、感慨もひとしおのことと存じます。

本日より、本校教職員一同、お子様の成長と安心安全を第一に考え、責任をもってお預かりいたします。今後も本校の教育活動に、ご支援とご協力をいただくとともに、お子様の成長を、温かく見守っていただくことをお願い申し上げ、式辞といたします。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。

令和5年4月7日
町田市立つくし野中学校長
柳 田 拓 史

2, 3年生の皆さんへ(始業式講話より)

2, 3年生の皆さん。おはようございませう。

令和5年度が始まりました。こうして皆さんの様子や表情を見ていると、上級生らしさを感じられることを嬉しく思います。人にとって、節目というのが、いかに大切かを改めて思います。そしてなにより健康にそして安全に、この春休みを過ごし、今日の始業式を迎えてくれたことを、心より嬉しく思います。

さて、今日は私たちの生活に大きな影響を与えた、新型コロナウイルス感染症に関連するお話を少ししたいと思います。

今回のコロナ禍による生活の変容は、私たち人類にとって未曾有の危機でした。

学校も臨時休校となり、再開後も分散登校、行事の中止、延期が繰り返されたことは、記憶に新しいところです。そんな中、医療従事者の方々の、昼夜を問わない懸命な医療活動や、介護施設や保育施設等での、感染予防と生命の安全の両立を図りながらの毎日を、テレビや報道から知ることとなりました。また、飲食業を営む方々のコロナ禍においてのご苦労や、小さいお子さんをお持ちの方々の、仕事と育児の両立の難しさも感じる事となりました。私たちは、今回のコロナ禍の生活において、いかに社会生活は多くの方々がつながり、支えあうことによって、成立しているかということ、改めて感じる機会となりました。

そして、そのつながりや支えあいは、自己の利益だけを追求するのではなく、社会全体の公共の利益を追求することが大切であることを、私たちに教えてくれました。

さて、今日から始まる新学期。新しい学年、学級は皆さんにとって、希望と不安が同居していることと思います。

でも、皆さんがこれから過ごす毎日は、授業で学び、学問を深めると共に、多くの仲間を敬い、協力することで成しうることが出来ることを、経験する日々でもあります。

苦労や困難もあると思います。でも、それらを乗り越えた先にある喜びや成就感を、この仲間と一緒に味わってほしいと思います。その経験が、将来皆さんが、公共性を身につけることや、社会における連帯を担う一員になることに、きつとつながるのではないかと思います。

明日は、第48回入学式が行われます。初々しい新入生が皆さんの後輩となります。

今頃、明日の準備をしながら、中学校に対する期待と不安が入り混じった気持ちでいることと思います。でも、入学式以降の学校生活で知る、上級生の優しさや逞しさに触れながら、少しずつ不安が解消され、上級生の姿に自らの未来を重ね合わせながら、日一日とつく中学生らしさを身につけていくことでしょう。どうか明日以降、つくし野中学校の中核を担う学年として、新たなつくし野中学校の伝統の1ページを、新入生と共に築いてほしいと思います。進級おめでとうございます。